

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援れたあ二俣川		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 2 月 7 日		～ 令和 8 年 2 月 21 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 14 日		～ 令和 8 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 28 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の時間のみならず、小集団/自由あそびの時間も職員がマンツーマンに近い体制で付いていることから、些細な出来事も把握することができ、必要に応じて介入を行うことができている</li> <li>・1人のお子さんが95分のなかで小集団・個別・自由遊び3つ全ての活動に参加をして貰うため全体像を捉え得意と課題の把握がしやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの際、保護者様から解決したい新たな課題を教えてくださいいただいた際、可能な範囲で次回の個別活動において課題に焦点をあてて活動を行っている。</li> <li>・個別/自由遊びの時間のメンバーは発達段階が近いお子さまや、お互い高め合えるお友だちと組めるよう日々の体制を考えている</li> <li>・担当制だが担当でない職員も一緒に一人のお子さんを見ている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練、引き渡し訓練の開催を行うにあたりヘルメットを被ることに抵抗があるお子さんもいたため、無理に被るのではなく小集団活動の時間において工事現場ごっこや、消防士さんごっこを行い楽しく活動するなかで、気付いたらヘルメットや防災頭巾を被ることができるようプログラムを実施している</li> <li>・共有時間を割くことで、担当者以外も把握ができる仕組みを取っている</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に支援を行うなかで、課題解決のために必要だと考えるものを作成できる場合、手作りグッズの作成を課題解決に向け取り組んでいる。お子さんの関心があるものも取り入れることで、課題に対して前向きな気持ちで取り組む姿が多く見られている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの時間において、小集団/個別/自由あそび それぞれの部屋でどのような姿が見られたか。課題に対してどのような関わり方をし現時点でどの程度まで到達できているか等保護者様とその日に細かくお話をさせていただくことで、保護者様と共通認識を持って日々の支援を実行している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の職員がどんな個別を実施しているのか職員同士が把握できるように、共有時に遊び方の紹介や使用したグッズのみ写真に残し職員間で共有を実施している</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前/午後それぞれの活動が終了後、お子さんの様子や保護者様とのやり取りの共有を毎回30分ほど行うことで、職員間で共通認識が持てるよう心掛けている</li> <li>共有に時間を割くことで、担当をしていないお子さんの様子を把握し、それぞれの課題解決に向けて必要な支援を職員全体で検討を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録用紙の見直しを行い5領域の目標、目標に対して実際の姿。それぞれの部屋での様子。保護者様とやり取りをして共有が必要な内容。職員間で共有が必要な事項。水分補給。トイシ。以上を網羅できるA4の記録用紙を使用し、全体像を把握できるように努めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団活動では全体製作や、サーキット、ボーリングに、季節の行事、身体測定など皆で一つのものを作り上げる活動や、ルールのある遊び、季節を感じるができる行事など活動プログラムを固定化しないように内容の検討を行っている</li> <li>・発達や年齢に合わせて小集団のプログラム内容を変更している</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動遊びを行なう際広い部屋がない</li> <li>必要とされる指導訓練室30㎡に対してれたあは33㎡と大きくは無いが、午前と午後2部制にしていることから、1回の利用人数に対して1人辺りの使用面積は基準の倍は確保ができてはいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士や、きょうだい同士の関わりが持てる場の開催を設けるに越したことは無いと思う反面、実際交流の必要性を感じていないというご意見も一定数いただいております、事業所の活動時間を午前/午後の2部制にしていることから、ニーズ/場所/開催時間を考えたとき開催に踏み切れない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者やきょうだい児の交流のご希望者は多くはないことを把握しているが、希望者の方に対してどのようなご案内ができるか検討をしていきたい</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策</li> <li>今回の評価票において①家族内感染の際の対応が分かりにくかった②当室時に手洗いをして貰えると安心というお声をいただきました。利用児童が感染症にかかった場合の対応は手紙と口頭で全体周知しておりますが、家族内感染についての案内は徹底ができていないため検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族内感染の取り決めは感染症によって違うことから細かいご案内ができていないのが現状</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的な知識は乏しいため、詳しい方と相談をさせていただきながら事業所として家族内感染時の対応を取り決め今後全体周知をしていきたい</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングの研修</li> <li>個々の対応を大切にしたいため、保護者さまを一度に集まっていた研修という形式で実施をしたことはない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回振り返りの際には、保護者様のお悩みやお困りごとに対してお話を伺いその場で回答または持ち帰り職員で共有後、研修に参加をしてもらうよりも個々のニーズに沿った対応方法を知っていく方がニーズがあると感じるためご家族が参加できる研修は行ってない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングの認知度が昨年より高まったこともあり、振り返りで相談をすると翌週までには相談内容の返答が貰えているという回答が増加した</li> <li>開所時より同様のやり方を実施しているものの、ペアレントトレーニングの認知度が低かったため「いいえ」の返答を多くいただいたよう感じる</li> </ul>